

東京都美術館×東京藝術大学
「とびらプロジェクト」フォーラム

コミュニティから 芽生える回復力

予測不可能な世界を生きる、
アート・コミュニケータの10年とこれから。

2022年1月22日(土)

2012年にスタートしたとびらプロジェクトは、2021年4月に10期とびらとともに10年目を迎えました。10年前の2011年は東日本大震災、そして現在も続くコロナ禍と、この10年は予測不可能な状況が日常になりました。

とびらプロジェクトでは、美術館を拠点に、多様な人々が作品や文化財を介して、フラットに関わり合う「ゼロからの対話」でつむぐコミュニティを目指して来ました。こうした「創造的な対話の場」は「予測不可能な世界」を生きる私たちに、日常を健やかに営み続ける「回復力(レジリエンス)」を与えるものではないかと考えています。今回のフォーラムでは、この10年間を振り返りつつ「コミュニティから芽生える回復力」について、とびらプロジェクトに関わってきた人々の言葉から考えていきます。

キーワードは #VUCA(予測不可能な時代) #アート #対話 #回復力 #コミュニティ #人間らしさ #ウェルビーイング
みなさまのご参加をお待ちしています。

参加申込方法

参加費無料、事前申込制(先着順)

「とびらプロジェクト」ウェブサイト内の申込フォームからお申し込みください。申込フォームは「会場参加」と「オンライン参加」の2種類があります。どちらかを選んでください。
※第二部に参加希望の方は、必ず「会場参加」を選んでください。

<https://tobira-project.info>

とびらプロジェクト 検索

お問い合わせ 東京都美術館 アート・コミュニケーション係
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 Tel:03-3823-6921 メール:q-tobira@tobira-project.info

主催/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、東京藝術大学
企画・運営/東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」
2021 © Tokyo Metropolitan Art Museum

第一部

13:00~15:30 [受付開始12:30]
会場:東京都美術館 講堂
オンライン
定員:会場参加 100名
オンライン参加 400名
※定員になり次第締め切ります。
※手話通訳あり ※UDトークによる文字表示支援あり

とびらプロジェクトとは?

熊谷香寿美 東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係
小牟田悠介 東京藝術大学 美術学部 特任助教/
とびらプロジェクト サブ・マネージャー

トークセッション

予測不可能な世界を生きる、
アート・コミュニケータの10年とこれから。

西村佳哲 / 稲庭彩和子 / アート・コミュニケータ

パネルディスカッション

コミュニティから芽生える回復力

- 日比野克彦 東京藝術大学美術学部長/岐阜県美術館 館長/
とびらプロジェクト代表教員
- 西村佳哲 プランニング・ディレクター/リビングワールド代表/
とびらプロジェクトアドバイザー
- 森司 アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長/
とびらプロジェクトアドバイザー
- 稲庭彩和子 東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係長/
とびらプロジェクトマネージャー
- 伊藤達矢 東京藝術大学社会連携センター 特任准教授/
とびらプロジェクトマネージャー

第二部

15:45~17:00
会場:東京都美術館 講堂、
アートスタディールーム、スタジオ
定員:会場参加のみ100名
(第二部に参加するためには、第一部「会場参加」の
申込が必要です。オンライン配信はありません。)

とびらボ オープンセッション

とびらプロジェクトの活動拠点を公開し、とびらボなどのとびらの
普段の活動について紹介します。とびらボがみなさまからのご質問
にもお答えします。

「アート・コミュニケータ」をとびらとよびます。

とびら 募集!

東京都美術館
×
東京藝術大学



「とびらプロジェクト」とは、東京都美術館
と東京藝術大学が連携して行っている
ソーシャルデザイン・プロジェクトです。

東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト



とびらプロジェクトとは？

東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携し、アートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクトです。美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、そこから生まれる新しい価値を実践を通して社会に届けています。

今年も活動の主体となるアート・コミュニケーター(とびラー)を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケーター(とびラー)として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。

例えばこんな活動

人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場(コミュニティ)づくり	本物の作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム	障害のある方など美術館に来館しづらい方々を対象とした特別鑑賞会の開催
建築家・前川國男が設計した東京都美術館の建築を活用したプログラム	美術館を活用して、自ら学び考えることを育む鑑賞授業の実施(学校との連携)	上野公園に広がる9つの文化施設をつなぐ活動の推進(「Museum Start あいうえの」との連動)

とびらプロジェクトは
アートを介して人々の間に
新しい価値を育む活動を行
っています。

応募条件

- 18歳以上の方(2022年4月1日現在、高校生を除く)で、日本語で日常会話ができる方
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
- 東京都美術館のミッション(使命)と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 2022年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能な方
- 2022年7月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
- パソコンなどでのEメール送受信が可能な方

活動条件

- アート・コミュニケーターの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等学びのコミュニティに無料で参加できます。
- アート・コミュニケーターの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。
- とびらプロジェクトのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。

活動場所

東京都美術館、東京藝術大学など。※オンラインでの活動もあります。

応募方法

- 以下の書類を郵送してください。
- ☑ 応募用紙：<アート・コミュニケーター応募用紙>に必要事項を記入してください。
※「とびらプロジェクト」ウェブサイトよりダウンロードしてください。 <https://tobira-project.info>
- ☑ 課題：A4用紙1枚(記載様式自由)
- ☑ 返信用封筒1通：定形封筒(長形3号)に84円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
- ☑ 郵送の際には、封筒の表面に「アート・コミュニケーター応募書類在中」と朱記してください。
- 応募受付期間：2022年1月10日(月)～2月14日(月) 消印有効



東京都美術館のミッション

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害を持つ人が何のためらいもなく来館できる、すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京藝術大学からのメッセージ

アートを介したコミュニティづくりは、作品を創造する人、そしてそれを享受する人を含め、人びとのクリエイティブな力が活きる社会をつくることにつながります。東京藝術大学は、芸術の基本である「もの」としての作品に加えて、「こと」としての芸術に取組み、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献します。

募集人数 **40**名

応募受付期間

2022年
1月10日(月)～2月14日(月)
消印有効

1次選考

書類審査
選考結果は2022年2月24日(木)発送で応募者全員にお知らせします。

2次選考

面接審査

2022年
3月4日(金)～6日(日)のいずれか1日
選考結果は2022年3月16日(水)発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

日程

課題

1次選考

アート・コミュニケーターに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べてください。美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。

(A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。)

*2次選考の面接はアート・コミュニケーターの活動をウェブサイトや参考図書等でご覧いただいていることを前提に行います。

必読!

参考図書

「美術館と大学と市民がつくる
ソーシャルデザインプロジェクト」
とびらプロジェクト編

青幻舎 1,600円+税

全国の書店やインターネット書店で発売中



とびらプロジェクトの活動についてはウェブサイトをご確認ください。 → とびらプロジェクト 検索

関連ウェブサイト「Museum Start あいうえの」 → あいうえの 検索

書類郵送先

東京都美術館アート・コミュニケーター募集担当宛 〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。 ※応募者の個人情報は、アート・コミュニケーターの選考に関する以外には一切使用しません。

講座内容

基礎講座

日程：2022年4月9日、23日、5月7日、21日、6月4日、18日(すべて土曜日、午前10時～午後3時予定)

場所：東京都美術館 アートスタディールーム(交流棟2階) ※予定
内容：美術館での活動についてや対話の場づくり、作品を通じたコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。

実践講座

2022年7月から実践講座が始まります。詳細は2次選考通過者に対して別途ご連絡します。



鑑賞実践講座の様子



「伊庭靖子展 まなざしのあわい」東京都美術館 ©Yusuke Nakajima